

# 京都芸術教育 フォーラム

## ゲストスピーカー



### 名和 晃平 氏

彫刻家/京都芸術大学教授  
Sandwich Inc.代表



### 富田 直秀 氏

医学者/京都市立芸術大学客員教授  
京都大学名誉教授

令和5年 **1月18日** WED. 18:30 ~ 20:30

主催 | 京都芸術教育コンソーシアム  
(Art-e 京都)

参加 | 無料

定員 | 80名 (事前申込制・先着順)

場所 | 京都市京セラ美術館 講演室

- 第1部 Art-e京都の取組(30分)  
『芸術教育普及のいま～つながる芸術教育～』
- 第2部 ゲストスピーカーによるトーク(40分)  
『アートと社会をつなぐもの』
- 第3部 トークセッション (40分)  
『アートと未来を考える』

- 後日、申込者に対してフォーラムの様子を撮影した動画配信を予定しております。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、実施形態等の変更を行う場合があります。その際は、申込者に対し、個別に御連絡いたします。

## 申込方法

- ①～⑤を記載のうえ、電子メール又はフォームからお申込みください。
- ①氏名 ②E-mailアドレス
  - ③「当日会場参加希望」か「後日動画配信のみ希望」のいずれかを記載
  - ④【学校関係者のみ】勤務する学校の校種 (例：中学校美術科教員)
  - ⑤【任意】スピーカーへの質問、アートに関する疑問など

申込先アドレス  
gakkousidouka@edu.city.kyoto.jp



- 先着順のため、参加の可否は、後日、受付完了メールでお知らせします。電子メール「@edu.city.kyoto.jp」からのメールを受信できるように、設定していただくようお願いいたします。

# 夜の美術館でアートと未来について考えませんか？

## フォーラム概要

将来の予測が困難とされる時代の中、豊かな感性や想像力等を育む芸術教育の重要性は増えています。京都芸術教育コンソーシアムでは、平成24年度設立以来、芸術系大学と市立小中学校との連携や今回で11回目となるフォーラム等を通じ、芸術教育の普及に努めてきました。今回のフォーラムでは、アートそのものはもちろんのこと、アートと社会のつながりをテーマとして取り上げ、京都を拠点に国内外での展覧会や他ジャンルのクリエイターとのコラボレーションを展開する名和晃平氏、人工関節や再生医療の開発研究の中でアート視点の重要性を発見し、ヒトの幸せのために必要な発想や視点を追求する富田直秀氏の二人をお招きし、ともに考えていきます。

### 第1部 Art-e京都の取り組み(30分)

#### 『芸術教育普及のいま～つながる芸術教育～』

京都市京セラ美術館、芸術系大学と小中学校で連携して行われている創意あふれる芸術教育普及のための取組をご紹介します。

### 第2部 ゲストスピーカーによるトーク(40分)

#### 『アートと社会をつなぐもの』

名和晃平氏と富田直秀氏のお二人に、作品制作や研究の中で感じる『アート』と社会のつながりや、芸術教育によって子どもたちに培われる力の価値などについてお話いただきます。

### 第3部 トークセッション(40分)

#### 『アートと未来を考える』

ゲストスピーカーにファシリテーターを交え、事前にいただいた質問を紹介しながら、アートについて、そして未来について、参加者の皆様と考えていきます。

令和5年 **1月18日** wed. 18:30 ~ 20:30

参加 | 無料

定員 | 80名(事前申込制・先着順)

場所 | 京都市京セラ美術館 講演室

- 後日、申込者に対してフォーラムの様子を撮影した動画配信を予定しております。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、実施形態等の変更を行う場合があります。その際は、申込者に対し、個別に御連絡いたします。

## ゲストスピーカー



**名和 晃平氏** 彫刻家/京都芸術大学教授  
Sandwich Inc.代表

1975年生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科博士課程彫刻専攻修了。彫刻の「表皮」に着目し、情報化時代を象徴する「PixCell」を発表。その後も彫刻の定義を柔軟に解釈し、鑑賞者に素材の物性がひらかれてくるような知覚体験を生み出してきた。近年は建築のプロジェクトなども手掛ける。2018年ループル美術館ピラミッド内にて彫刻作品「Throne」を特別展示。



**富田 直秀氏** 医学者/京都市立芸術大学  
客員教授/京都大学名誉教授

1955年生まれ。早稲田大学大学院理工学研究科博士課程前期修了。佐賀医科大学医学部医学科卒。人工関節や再生医療の「ヒトに寄り添うモノ」の研究を行ってきた。研究・開発の中で「モノに寄り添うヒト」というアート視点を想起し、京都市立芸術大学にて新入生とともにアート視点を体験しながら、他分野とのつながりについて考察を続けている。

## ファシリテーター

**東良 雅人**

京都市総合教育センター副所長  
元文部科学省視学官



## 申込方法

①～⑤を記載のうえ、電子メール又はフォームからお申込みください。

- ①氏名 ②E-mailアドレス
- ③「当日会場参加希望」か「後日動画配信のみ希望」のいずれかを記載
- ④【学校関係者のみ】勤務する学校の校種(例:中学校美術科教員)
- ⑤【任意】スピーカーへの質問、アートに関する疑問など



申込先アドレス  
gakkousidouka@edu.city.kyoto.jp

電子メール フォーム

- 先着順のため、参加の可否は、後日、受付完了メールでお知らせします。「@edu.city.kyoto.jp」からのメールを受信できるように設定していただくようお願いいたします。

## 関連イベント

ぼよんDAYS 令和5年1月14日、15日京都市京セラ美術館で開催予定  
第1部でご紹介する美術館をより楽しむための『ラーニングツール』の体験会です。  
詳しくは12月下旬公開予定の京都市京セラ美術館のホームページをご覧ください。

## 主催 京都芸術教育コンソーシアム(Art-e京都)

平成24年度に設立。京都・滋賀の芸術系大学や小中学校の研究会などが連携し、大学における教育・研究の発展、次代を担う子どもたちの生きる力を育む芸術教育の充実・振興に努め、芸術創造都市・京都の創生に寄与することを目的としています。  
(参加団体) 京都市立芸術大学、京都精華大学、京都芸術大学、嵯峨美術大学、嵯峨美術短期大学、成安造形大学、京都美術工芸大学、京都市京セラ美術館、京都市図画工作教育研究会、京都市立中学校教育研究美術部会、京都市、京都市教育委員会

